

中間とりまとめへの追記を 検討する事項(案)

中間とりまとめへの追記を検討する事項(案) 1/2

<基本的な考え方>

人命を最優先に幹線道路上の大規模な車両滞留を徹底的に回避する

(1) 車両滞留の回避に向けた対応

・行動変容を促すための広報

- ⇒ 移動の自粛や広域迂回等の呼びかけ（通行止め予測の充実、荷主等も含めた対象の拡大）
- ⇒ 通行規制の可能性が高まった場合の対応（多頻度化、周知内容の具体化）

・リスク箇所の監視や対策の徹底

- ⇒ カメラの増設・相互利用・専任要員配置等の体制構築、融雪施設の整備

(2) 人命最優先の観点からの通行規制のあり方

・集中除雪のために躊躇なく計画的・予防的な通行止めを可能とする対策

- ⇒ タイムラインに行動計画を位置づけ
- ⇒ 予め応援を含む人員配置計画を作成し、早期に人員を配置

・人命最優先の観点からの幹線道路の通行止め方策

- ⇒ 広範囲、高速道路と並行する国道等の同時通行止め
- ⇒ 同時通行止め箇所を想定し、運用をタイムラインに反映

・短時間の集中的な大雪と通常の大雪の際の規制の違い

- ⇒ 交互の通行止めではなく、幹線道路の同時通行止め【再掲】
- ⇒ チェーン規制ではなく躊躇ない通行止め

(次頁へ続く)

(3) 滞留が発生した場合の対応

・道路管理者の使命

⇒ 滞留状況の正確な把握とそのための体制構築

・救助、避難に必要な情報の伝達、関係機関への迅速な応援要請

⇒ 滞留された方々への情報提供※

※NEXCO東日本新潟支社が設置した「令和2年12月関越自動車道集中降雪に関する対応検討会」の提言も反映

⇒ 除雪・開放に必要な要員確保を優先した上で、道路管理者は救助、避難に必要な要員を確保

⇒ 救助、避難に必要な情報の伝達、共有

・救助、避難のオペレーションの明確化

⇒ 大規模な立ち往生が発生した場合の乗員保護については、整備局等を中心に、道路管理者、都道府県等と連携して支援する体制を構築

・円滑な救助、避難のための準備

⇒ 救助、避難を想定した整備(中央分離帯開口部、Uターン路等)